

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET44E002		地域教育実践演習(Practical Seminar in Local Education)					共通									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2016:2 2017:2 2018:4 2019:4	1	大学院教育学 研究科	通年		氏名 教育学研究科 指導教員  E-mail 内線										
授業の概要	地域の学校教育が抱える複雑・多様化する教育課題と学生自らの問題意識を統合して、実践課題を設定し、地域の学校や附属学校の支援のもとに、実践課題の解決に資する取り組みを行い、地域が求める教育課題に対応できる高度な専門的資質及び実践的指導力を養成する。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 地域の学校教育の諸課題を認識し、実践課題を設定できる。																
目標2 収集した事例と現地調査結果を分析・考察し、まとめることができる。																
目標3 課題解決のための具体策を立案し、提示する実践的指導力を身に付ける。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 オリエンテーション																
2 地域の教育課題の収集と整理																
3 地域の教育課題の収集と整理																
4 地域の教育課題の収集と整理																
5 地域の教育課題の収集と整理																
6 実践課題の選定																
7 実践課題解決のための事例研究																
8 実践課題解決のための事例研究																
9 実践課題解決のための事例研究																
10 実践課題解決のための事例研究																
11 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
12 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
13 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
14 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
15 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
16 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
17 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
18 実践課題解決のための現地調査(地域の学校あるいは附属学校園)																
19 事例研究と現地調査結果のとりまとめ																
20 現地調査報告書作成																
21 課題解決のための具体策の立案																
22 課題解決のための具体策の立案																
23 課題解決のための具体策の立案																
24 課題解決のための具体策の立案																
25 課題解決のための具体策の立案																
26 課題解決のための具体策の立案																
27 課題解決のための具体策の立案																
28 課題解決のための具体策の立案																
29 研究成果報告書作成																
30 研究成果報告書作成																
ラーニング	A:知識の定着・確認		地域の教育課題を認識して自らの実践課題を設定し、研究計画に基づいて現地調査を行った後、成果報告書を作成するなど、主体的・能動的な研究活動を行う。					工夫 その他								
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	研究計画に基づいて調査を進める(20h)。														
	事後学修	調査結果を随時まとめる(25h)														
教科書	特に指定しない。															
参考書	特に指定しない。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末レポート	70%										
	現地調査への取り組み	30%										
注意事項	年次はじめに履修登録すること。中途の履修は認めない。											
備考	なし。											
リンク												
	URL											